



循環型社会に向けた自動車リサイクルを考える

## 全国の小学生を対象とした 第2回「クルマのリサイクル」作品コンクール開催

主催：（公財）自動車リサイクル促進センター 締切日：2019年1月31日（木）

公益財団法人自動車リサイクル促進センター（所在地：東京都港区、代表理事：中村<sup>なかむら</sup> 崇<sup>たかし</sup>）以下、「JARC」は、小学生の学校教育での学びを通じ、自動車の産業や環境保全について考えてもらうことを目的として、全国の小学生を対象とした第2回「クルマのリサイクル」作品コンクールの募集を本日より開始いたします。

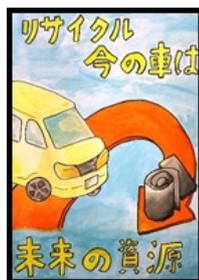
現在、多くの小学校では、日本の工業生産と関連して、国民生活を支える自動車産業に関する人々の工夫や努力の取組の一つとして、自動車リサイクルが授業の中で取上げられています。

この背景によりJARCは、自動車ユーザーを始めとしたクルマに関する人々による循環型社会に向けた工夫や努力の取組をまとめた壁新聞を全国小学校に配付し、紹介しているところです。

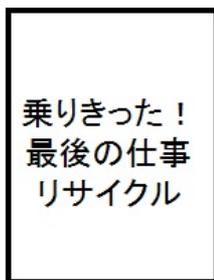
この度JARCは、学校教育と連動した情報提供の活動として、小学生自らが自動車リサイクルの学びを通じて、自動車の産業や環境保全に向けた取組の現状や将来を考え、自動車リサイクルの取組の理解が深められるように、全国の小学生を対象とした「クルマのリサイクル」の作品コンクールを開催することといたしました。（昨年度は、全国から8,263件の応募がありました）

本コンクールは、自動車リサイクルを学んだ小学生を対象とし、「クルマのほとんどがリサイクル」「リサイクルしやすいクルマづくり」など、小学生が皆に知ってほしいことを作品にして応募いただくコンクールです。

<第1回「クルマのリサイクル」作品コンクール受賞作品例>



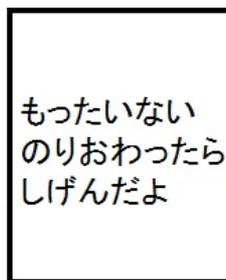
最優秀賞



JARC賞



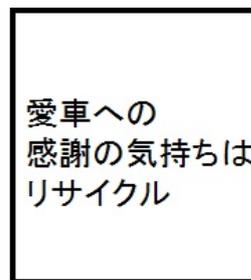
小学生新聞賞



審査員特別賞



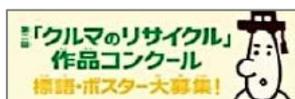
審査員特別賞



審査員特別賞

## <第2回「クルマのリサイクル」作品コンクールの概要>

- 主催 : 公益財団法人自動車リサイクル促進センター
- 後援 : 経済産業省、環境省、全国都道府県教育委員会連合会、  
全国市町村教育委員会連合会、一般社団法人日本自動車工業会、  
一般社団法人日本自動車販売協会連合会、  
一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会、毎日新聞社/毎日小学生新聞
- 応募資格 : 小学生(日本在住)
- 部門 : ①標語の部、②ポスターの部
- 応募方法 : ①標語の部⇒17文字(5・7・5)の標語と作品に込められた思い(100文字以内)  
②ポスターの部⇒八つ切りサイズ(27cm×38cm程度)までの画用紙で、  
画材は自由(貼り絵は不可)
- 応募宛先 : 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-17-5F  
毎日企画サービス「クルマのリサイクル」作品コンクール事務局
- 応募期間 : 2018年11月1日(木)～2019年1月31日(木)必着
- 入賞発表 : 3月下旬
- 賞 : 個人賞、団体賞、参加賞 (\*)
- 問い合わせ先 : 「クルマのリサイクル」作品コンクール事務局  
03-6265-6814(平日の午前10時から午後5時まで)



(\*)作品コンクールの詳細は次の URL を参照  
<https://www.jarc.or.jp/contest2018/>

### > 自動車リサイクルシステムの概要

国内では年間約330万台(2017年度)の使用済自動車が発生し、2005年1月に発足した自動車リサイクルシステムのもと、自動車メーカーや関連事業者などの自動車リサイクルの関係者が適正なりサイクルの取組を進めた結果、使用済自動車のほとんどがリサイクル。

### クルマはこうやってリサイクルされるんです

ユーザーはクルマを買うときリサイクル料金を支払います。

ながく大切に乘った愛車もいつかは使わなくなります。

ユーザーが使わなくなったクルマを引取業者に引き渡します。

クルマのほとんどがリサイクル!

金属を原材料に戻してリサイクルします。残ったプラスチックやゴムなども原材料に戻したり熱源として再利用します。

クルマのボディをシュレッダー機で破碎します。

使える部品を取り外して中古部品として使います。

フロン類を抜き取って破壊します。エアバッグ類を安全に取り外します。

### リサイクル料金を使って処理する3物品について

(ユーザーが支払ったリサイクル料金で特別に管理する物品)

#### シュレッダーダスト

クルマから有用な部品や金属資源などを回収した後のクズ(プラスチックやゴムなど)をシュレッダーダストといいます。シュレッダーダストを更に原材料に戻したり、熱源として再利用します。

#### フロン類

カーエアコンに使用されるフロン類は、オゾン層破壊や地球温暖化など環境によくない影響があるので大気放出を防ぐ必要があります。フロン類を回収した後、高熱で燃やして無害化します。

#### エアバッグ類

エアバッグ類には爆発性のあるガス発生剤が使われているので、クルマのリサイクルでは安全性を確保する必要があります。エアバッグ類を回収した後、金属部分を原材料に戻してリサイクルします。

➤ **公益財団法人自動車リサイクル促進センター(JARC)とは**

自動車のリサイクル及び適正処理の促進に関する各種事業を行うことにより、資源の有効な利用の向上及び環境の保全に貢献することを目的とする公益法人。

所在地	: 〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館 11 階
設立	: 2000 年(平成 12 年)11 月 22 日
理事長	<small>なかむら たかし</small> : 中村 崇
自動車リサイクル法指定法人業務の主務官庁	: 経済産業省、環境省
URL	<a href="https://www.jarc.or.jp/">https://www.jarc.or.jp/</a>



➤ **自動車リサイクルシステム全般のお問い合わせ先**

自動車リサイクルシステム コンタクトセンター

☎ 050-3786-7755 平日 9:00～18:00 (土日祝日・年末年始を除く)

(メディア関係者様のお問い合わせ先)

公益財団法人自動車リサイクル促進センター  
広報・理解活動推進部  
電話 : 03-5733-7144